

一 経 過

1) 労働者側

A 依然罷業ヲ繼續シ居レリ

B 十六日午後六時三十分ヨリ牛込區若松町所在空家ヲ借受

大杉印刷工場労働批判演説會ヲ開催

ハ 聴衆 男 三十名 女 五名

ハ 弁士

遠藤總之丞 河内佳良二 佐周原次

神尾 猛 吉本英一 宮林勇二郎

細川平三 飯島莊横 小島平三

山 田榮太郎 森崎平馬 越田宗太郎

河 恭 月

演説要旨ハ何レモ大杉ノ態度ヲ攻撃シタルモノニシテ

不徳ノ言辭ナク又聴衆ノ感動ナシ

午後八時四十分平瀬裡ニ散會ス

C 十五日夕既報ノ如ク「明云諸君ニ許ラト題スルビラヲ再
プリントシテ撒布セリ

(2) 事業主側

特異ノ行動ナキモ態度強硬ナリ

(3) 交渉状況

A 十四日午後八時工場主宅ニ於テ大杉工場主ト労働者代表

森崎平馬外四名ト會見シ労働者側ヨリ具体案トシテ

ハ 散首者トハ最少限度ニ百日分支給ノ事

ハ 賃銀ハ最高ハ八分減最低減ホシ

ハ 罷業中ノ日給金額支給

ハ 爭議費用金額負担

ハ 今後ノ勤務者ト斯ク例ト絶對持出スル事